

令和5年度大正区事業・業務計画書一覧【地域協働課】

【表の記載項目】

- ・スケジュール：○（予定通り進捗）、△（一部進捗に遅れ）、×（計画の変更を必要とするほど進捗の遅れ）、－（該当する項目なし）
- ・自己評価：◎：目標値を大幅に上回り達成（目標数値の+10%以上）、○：目標値を達成（目標数値の0%以上～+10%未満）
△：目標値を下回り未達成（目標数値の－10%以上～0%未満）、×：目標値を大幅に下回り未達成（目標数値の－10%未満）

取組番号	担当	事業名	重点	新規	スケジュール				自己評価	
					4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	業績目標	成果目標
地1	地域協働	人権啓発推進事業			○	○	○	○	○	△
地2	地域協働	特定空家等の是正			○	○	○	○	×	×
地3	地域協働	「TUGBOAT_TAISHO」運営事業			○	○	○	○	○	×
地4	地域協働	公民連携の促進			○	○	○	○	○	△
地5	地域協働	エリア価値の向上に向けた地域活性化事業	○		○	○	○	○	○	×
地6	地域協働	特定空家等の是正			○	○	○	○	×	×
地7	地域協働	大正区コミュニティ育成事業	○		○	○	○	○	○	△
地8	地域協働	地域まちづくり実行委員会に対する支援事業			○	○	○	○	○	×
地9	地域協働	地域まちづくり実行委員会のつながりの拡充にかかる支援			○	○	○	○	○	△
地10	地域協働	区民協働による魅力活性化事業			○	○	○	○	○	○
地11	地域協働	区役所コンサート			○	○	○	○	○	○
地12	地域協働	スポーツ推進委員活動の支援			○	○	○	○	○	○
地13	地域協働	大正区成人式の実施			—	○	○	○	○	○
地14	地域協働	青少年指導員・青少年福祉委員活動の支援			○	○	○	○	○	△
地15	地域協働	区役所附設会館管理運営業務			○	○	○	○	△	○
地16	防災防犯	スポーツ推進委員活動の支援	○		○	○	○	○	○	×
地17	防災防犯	地域防災力の向上にかかる「公助」の充実	○		○	○	○	○	○	○
地18	防災防犯	地域防災リーダーの育成	○		○	○	—	—	○	○

取組番号	担当	事業名	重点	新規	スケジュール				自己評価	
					4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	業績目標	成果目標
地19	防災防犯	水防団との連携			○	○	－	－	○	○
地20	防災防犯	地域防犯・安全対策の推進			○	○	○	○	○	○
地21	防災防犯	放置自転車対策			○	○	○	○	○	○

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
地1	人権啓発推進事業	令和5年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	人権啓発活動を積極的に推進することで、区民自らが社会の構成員としての自覚を持ち、相互の人権が尊重されるまちづくりを実現していく。そのためには、より多くの区民が参加でき、主体的に考えることができる効果的な啓発活動に取組み、人権意識の高揚を図ることで、お互いの人権が尊重される状態を目指す。
	内容	・紙媒体等を用い、区民に広く啓発を行うなど、アウトリーチ型の浪速・西・港・大正区の共催による「2023第39回にし人権展」を実施。(幹事区は4区持ち回り・R5年度は西区) ・市長より委嘱された人権啓発推進員が地域における人権啓発活動の中心的な役割を果たすために、人権啓発推進員連絡会を開催し、市主催人権研修の内容の共有等を行う。 ・人権啓発推進員による「第39回にし人権展」を活用した地域における広報・啓発等を行う。 ・区民からの人権相談、憲法週間や人権週間における啓発等の取組を関係機関と連携のうえ実施する。
	予算額(予算科目)	907千円(報償金、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、委託料)
	事業実施期間(回数)	令和5年4月1日～令和6年3月31日
	事業対象者(人数)	大正区全世帯(約30,000世帯)
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月～3月	・人権相談(通年) 人権展調整会議 ・大阪市人権啓発推進員の推薦 ・大阪市人権行政推進計画～人権ナビゲーション～に基づく「人権の視点！100！」実行プログラム報告		○
	4月～6月	・人権相談(通年) ・大阪市人権行政推進計画～人権ナビゲーション～に基づく「人権の視点！100！」実行プログラム策定 ・第1回大正区人権啓発推進員連絡会の開催 ・人権展調整会議 ・憲法週間(5月1日～7日)における啓発(のぼり・懸垂幕等の掲出) ・男女共同参画週間フェイスブック・ツイッターシェア	フェイスブック ツイッター	○
	7月～9月	・人権相談(通年) ・人権展調整会議		○
	10月～12月	・人権相談(通年) ・人権展調整会議 ・「区民まつり」での人権啓発 ・第2回大正区人権啓発推進員連絡会の開催 ・人権啓発推進員による地域まちづくり実行委員会等での人権啓発・広報の実施 ・人権週間(12月4日～10日)における啓発(のぼり・懸垂幕等の掲出、フェイスブック・ツイッターシェア) ・テレビモニターを活用した人権啓発 ・「2023第39回にし人権展」の開催 ・大阪市人権行政推進計画～人権ナビゲーション～に基づく「人権の視点！100！」実行プログラム進捗報告	こんにちは大正ホームページ フェイスブック ツイッター	○
	1月～3月	・人権相談(通年) ・人権展調整会議 ・「成人式」での人権啓発 ・人権啓発推進員の推薦 ・大阪市人権行政推進計画～人権ナビゲーション～に基づく「人権の視点！100！」実行プログラム報告		○
備考				

項目		内容		
講座・イベント・会議名		「2023第39回にし人権展」		
イベント等 開催関係	開催日時	令和5年12月1日～令和6年1月31日		
	開催場所			
	区役所の主催等	主催		
	その他主催団体・組織等	浪速・西・港・大正区役所		
	共催団体・組織等			
	後援団体・組織等			
	目標事業規模	大正区30,000世帯		
	その他留意事項			
	イベント等 当日タイムテーブル	新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑みて、ウィズコロナ・ポストコロナ社会においても実施可能で、新しい生活様式や感染防止対策に考慮した手法で開催する。また、より多くの実施対象にアウトリーチできる効果的な情報発信を行う。		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		区民意識調査において、人権が尊重されているまちだと思うと回答した割合：(R4) 77.0%		
業績目標	実績	アウトリーチ型の人権展の開催1回 大阪市人権啓発推進員による人権啓発1回	「2023第39回にし人権展」の開催1回 大阪市人権啓発推進員による地域まちづくり実行委員会等の会議での人権啓発・アンケートの実施1回	自己評価 ○
成果目標	実績	区民意識調査において、人権が尊重されているまちだと思うと回答した割合：77%以上	75.9%	△
中期展望		人権尊重のまちづくりをめざして、人権啓発事業が多くの区民の参画を得て実施され、大正区将来ビジョン2025に掲げる5つの柱のひとつである「だれもが健康で安心して暮らせるまちへ」の実現が進められている状態。		
成果目標が 中期展望に 寄与する理由		効果的に人権啓発事業が実施されることで、区民一人ひとりの人権意識が向上し、中期展望に寄与することが期待できるため。		

SDGsゴール	5	ジェンダー平等を実現しよう
	10	人や国の不平等をなくそう
	16	平和と公正をすべての人に

修正履歴	
------	--

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
地2	特定空家等の是正	令和5年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	空家等の除去などの是正に取組み、周辺環境の悪化や地域コミュニティの沈滞化などを防ぐ事で、空家等の利活用の促進し、まちの環境改善に繋げ、区民の不安を軽減する。
	内容	大阪市空家等対策計画(第2期)、大正区空家等対策アクションプラン(第2期)に基づき以下の内容を実施する。 ・空家等の調査 ・住民からの空家等に関する相談対応 ・所有者等による空家等の適切な管理の促進 ・空家相談員による空家の利活用に関する相談会の実施 ・特定空家等に対する措置その他の特定空家等への対処
	予算額(予算科目)	38千円(普通旅費、消耗品費、通信運搬費)
	事業実施期間(回数)	令和5年4月1日～令和6年3月31日
	事業対象者(人数)	空家所有者他
委託関係	契約・入札方法	
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月～3月 ・区民からの通報等による特定空家等への対応 ・空家所有者に対する助言・指導 ・同意のあった空家所有者を空家相談員に繋げ早期解決へ導く ・空家相談会の実施		○	○
6月	4月～5月 ・区民からの通報等による特定空家等への対応 ・空家所有者に対する助言・指導 ・同意のあった空家所有者を空家相談員に繋げ早期解決へ導く	HP、広報紙に空家相談会等の案内を掲載	○	○
9月	7月～8月 ・区民からの通報等による特定空家等への対応 ・空家所有者に対する助言・指導 ・同意のあった空家所有者を空家相談員に繋げ早期解決へ導く ・空家相談会等の実施	HP、広報紙に空家相談会等の案内を掲載	○	○
10月	9月～10月 ・区民からの通報等による特定空家等への対応 ・空家所有者に対する助言・指導 ・同意のあった空家所有者を空家相談員に繋げ早期解決へ導く ・空家相談会等の実施	HP、広報紙に空家相談会等の案内を掲載	○	○
3月	11月～12月 ・区民からの通報等による特定空家等への対応 ・空家所有者に対する助言・指導 ・同意のあった空家所有者を空家相談員に繋げ早期解決へ導く ・空家相談会等の実施	HP、広報紙に空家相談会等の案内を掲載	○	○
備考				

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
その他課との連携等		大正区空家相談員、大正警察署、大正消防署、都市計画局建築指導部監察課他		
前年度実績		【令和4年度】 ・空家相談員への相談に繋げた件数:20件・特定空家等の解体や補修等による是正件数 14件 【令和4年度】 ・空家相談会開催:5回 ・周辺の特定期空家等に不安などを感じていると回答した割合:令和4年度:38.5%(区民意識調査)		
業績目標	実績	・特定空家等の解体や補修等による是正件数 10件以上 ・空家相談員への相談に繋げた件数:10件以上	・特定空家等の解体や補修等による是正件数 7件 ・空家相談員への相談に繋げた件数:10件	自己評価 ×
成果目標	実績	周辺の特定期空家等に不安などを感じていると回答した割合:前年度より5%以上減少 (区民意識調査)による)	42.1%	×
中期展望		特定空家等が減少するとともに空家等の利活用が促進され、安全、安心なまちづくりが図られている状態。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		周辺の特定期空家等に不安を感じている区民の割合が減少し、空家の利活用に肯定的になることで、まちの環境改善につながり、区民にとって安心・安全なまちづくりが図られるため。		

SDGsゴール	11	住み続けられるまちづくりを
	—	
	—	

修正履歴	
------	--

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
地3	「TUGBOAT_TAISHO」運営事業	令和5年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	貴重な地域資源である尻無川河川広場を「にぎわい創造拠点」と位置付け、区民はもとより観光客などの来訪者の憩いの場となるとともに、本市観光施策における新たな観光資源として位置づけられた舟運事業の実施により、川と海をつなぎ、さらに水辺とまちをつなぐキーステーションとして観光客や内陸部の資源との連動や誘引を積極的に行うなど、中長期的に水辺からまち全体を活性化させる。
	内容	尻無川河川広場において、事業者の整備・運営する飲食店舗や宿泊施設等を有する「TUGBOAT TAISHO」(令和元年度開業)について、区役所は当該広場の占用等にかかる行政事務手続きの後方支援や同所において事業者が開催するにぎわい創出イベントの広報協力等を行う。 区内企業や地域等との連携を区役所から提案し、マッチングのうえ実施する。 開催にあたっては広報紙やSNS等の区役所の広報媒体等を活用し、広く周知を行う。 災害時等における外国人を含む同所来場者の避難誘導等に関して、地域の防災計画に基づいて防災訓練を実施し、当該訓練についてPDCAサイクルをまわす。 同所における集客状況やイベントの実施等、適宜、事業者の運営状況を把握するとともに、事業者による来場者に対するアンケートを実施し、得られた情報をもとに事業者と連携のうえ来場者の把握や分析を行う。 必要に応じて、各地域活動協議会や区政会議等において、地域の意見を聴取し、当該意見を運営に反映する。
	予算額(予算科目)	7,909千円(使用料) ※同額の歳入あり
	事業実施期間(回数)	通年
	事業対象者(人数)	-
	契約・入札方法	公募型プロポーザル(H28)
委託関係	募集要項のポイント	
	仕様書のポイント	
	選考委員等選考方式	

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業	
(前年度)	1月 5 3月	随時: 広報協力 事業展開に関する関係機関(大阪府西大阪治水事務所等)との協議等		○	○
	4月 5 6月	随時: 広報協力 事業展開に関する関係機関(大阪府西大阪治水事務所等)との協議等 区内企業・地域等との連携取組について内容検討、連携先との調整		○	○
	7月 5 9月	随時: 広報協力及び 事業展開に関する関係機関(大阪府西大阪治水事務所等)との協議等 区内企業・地域等との連携取組の実施		○	○
	10月 5 12月	随時: 広報協力 事業展開に関する関係機関(大阪府西大阪治水事務所等)との協議等 区内企業・地域等との連携取組について内容検討、連携先との調整		○	○
	1月 5 3月	随時: 広報協力 事業展開に関する関係機関(大阪府西大阪治水事務所等)との協議等 区内企業・地域等との連携取組の実施		○	○
備考					

項目		内容		
講座・イベント・会議名		各種イベント		
イベント等開催関係	開催日時	随時		
	開催場所	タグボート大正		
	区役所の主催等	広報協力等		
	その他主催団体・組織等	事業者(株式会社リタウン)等		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		・にぎわい創造拠点施設を利用したことがある、または利用したいと思っていると回答した割合 71.9%(令和4年度) ・地域と連動したイベント 令和4年度2件、広報紙掲載 9件、SNS 0件(令和4年度)		
業績目標	実績	地域と連動したイベント等を運営事業者と連携しながら実施し、イベントの広報活動を行う。 広報紙、HP、SNS等への掲載:1回/月 地域と連携したイベント:2件	広報紙、HP、SNS等への掲載:1回/月 地域と連携したイベント:3件	自己評価 ○
成果目標	実績	区民意識調査において、にぎわい創造拠点施設を利用したことがある、または利用したいと思っていると回答した割合:71.9%以上	64.2%	×
中期展望		河川広場で展開される事業を地域と連動し、地域のブランド力を向上させ、大正区全体に、そのにぎわい効果が浸透している状態。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		地域との連動した取組を実施し、そのブランド力を向上させるにあたり、まずは多くの方々にTUGBOAT_TAISHOを認知・来訪していただき、更には利用したいと思っていただくことが、地域のブランド力を向上させ、大正区全体にそのにぎわい効果の浸透につながる事となるため。		

SDGsゴール	8	働きがいも経済成長も
	9	産業と技術革新の基盤をつくろう
	11	住み続けられるまちづくりを

修正履歴	
------	--

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
地4	公民連携の促進	令和5年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	大正区のエリア価値の向上を図る上で、高齢化や医療・介護をはじめ、にぎわい創出や空き家の利活用などの様々な分野などにおいて、行政が担う役割と、それにかかるコストが日々増大している状況である。そこで、事業実施の主体となる民間企業等と大正区が連携し、持続可能な社会の実現に資する事業を実施できる体制を整え、民間活力を生かしたまちづくりを行う。
	内容	区役所と民間企業等との連携の窓口となり、区役所全体の案件把握を行い、取組を促進する。 また、既に行っている連携について、必要に応じて連携内容を検討しながら継続する。 ※主な既存の連携 ・大正・港ものづくり事業実行委員会への事務局としての参画 ・山忠木材株式会社との連携でのきごころサロンまつりでの協働 ・(独法)都市再生機構と㈱フィルとの連携での大正クラフトライフマーケットでの協働 ・(独法)都市再生機構と㈱アイルとの連携した地域活性化 ・小川文化(ヨリドコ大正メイキン)を活用した地域活性化 ・区民協働(わがまちビジョン運営委員会)による魅力発信事業 ・(独)都市再生機構と連携した地域福祉の充実 ・NPO法人アズウィッシュとの地域福祉のまちづくり(発達障がい者への支援) ・大正白稜高等学校との包括連携協定の締結 ・(株)RETOWNとの包括連携協定の締結 ・IKEA鶴浜との鶴町地域における地域活性化事業 ・泉建設(株)との空き家利活用の促進事業 ・吉本興業株式会社との包括連携協定に基づく、住みます芸人の活用
	予算額(予算科目)	-
	事業実施期間(回数)	-
	事業対象者(人数)	-
	契約・入札方法	-
委託関係	募集要項のポイント	-
	仕様書のポイント	-
	選考委員等選考方式	-

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月 5 3月	随時、外部との折衝、広報協力、連携を実施		○
	4月 5 6月	随時、外部との折衝、広報協力、連携を実施	随時	○
	7月 5 9月	随時、外部との折衝、広報協力、連携を実施 <u>レッドハリケーンズ大阪との連携に関する協定の締結</u>	随時	○
	10月 5 12月	随時、外部との折衝、広報協力、連携を実施	随時	○
	1月 5 3月	随時、外部との折衝、広報協力、連携を実施	随時	○
備考				

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		・新たな公民連携関係の構築 令和4年度 2件 ・区民意識調査にて、企業が地域の活動に寄与していると感じると回答した割合：令和4年度 56.4%		
業績目標	実績	公民連携により実施した事業：年間3回以上	公民連携により実施した事業：年間18回	自己評価 ○
成果目標	実績	区民意識調査にて、区役所と連携している民間企業等との取り組みが、社会的に貢献していると回答した割合：56.4%以上	51.5%	△
中期展望		区民がもつ課題に対し、行政で対応できないことを、民間企業等が事業実施の主体となり、民間ならではの活力を生かし、解決していくまちとなっている状態。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		区役所と連携している民間企業等との取り組みが、社会的に貢献していると区民から認知・評価されることは、大正区が社会貢献に取り組みやすい環境であるという企業からの評価につながり、区内における企業等による社会貢献活動が促進されることとなり、地域課題の解決につながるため。		

SDGsゴール	17	パートナーシップで目標を達成しよう

修正履歴	レッドハリケーンズ大阪との連携に関する協定の締結を追記
------	-----------------------------

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
地5	エリア価値の向上に向けた地域活性化事業	令和5年4月1日 地域協働課(地域協働)	○	

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	大正区では人口が減少し、区内の事業所数も減少しており、総体として都市活動が低下し、まちの賑わいが減少してきている。 この状況を鑑み、これから大正区が人々の注目を集め、大正区・地域に関わりたくなるまちとなるよう、地域活性化事業によるエリア価値の向上をめざす。
	内容	令和4年10月より開始した空家などの遊休不動産を活用して、まち全体を再生し、その価値を高めるエリアリノベーションの取り組みについて、次のとおり民間事業者と連携した実証実験を引き続き業務委託により実施する。 大正区で定期的な賑わいを創出する千島公園及び周辺一帯(※)を活用した、飲食や物販等を営む店舗が集まり販売を行う「大正トンボロマルシェ」を開催し、また、利活用が見込まれる空家を巡り、利活用の促進を図る「Taishoさんぽ日和」を実施。 そして次のコンセプトに基づき、人々の注目を集めるとともに、大正区の魅力を広く知ってもらい、また、本事業実施エリアにおける集客力のポテンシャル等を測ることとする。 ○大正区民が、大正区の新しい魅力を発見し、まちの『いままで』と『これから』に興味を持ち、大正区での暮らしに魅力を感じてもらう ○千島公園及び周辺一帯を活かしつつ、流行りに敏感で情報発信に長けている層をメインターゲットとして楽しんでもいただく ○渡船や水辺をはじめとした大正区ならではの魅力スポットとともに、既にリノベーションされた元は空家であった物件や、今後リノベーションすることで利活用が見込まれる空家を巡り、大正区での出店、居住を促す ※千島公園を中心とした徒歩10分(約800メートル)圏内 社会実験の期間は令和4年10月～令和5年12月までとする。
	予算額(予算科目)	1,562千円(委託料)
	事業実施期間(回数)	令和5年4月から令和5年12月まで
	事業対象者(人数)	約5000人
	契約・入札方法	特名随意契約(令和5年度事業の令和4年度受託者による継続実施については契約事務審査会で審査する)
委託関係	募集要項のポイント	
	仕様書のポイント	民間事業者の高いノウハウや経験、行政にはない新たな発想を持ち、エリア価値の向上につながる企画内容。 ・大正区独自の魅力を来場者へ印象づける企画 ・空家相談、店舗探し、家探しができるブースの設置 ・集客が見込める飲食店(キッチンカー)・物販店の誘致 など
	選考委員等選考方式	

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業	
(前年度)	1月 5月 3月	毎月1回マルシェ及び空家まち歩きの実施及び効果測定(令和4年10月～) 令和5年度以降の業務委託について契約事務審査会を実施。業務委託契約にかかる手続き: 令和5年3月事業実施決裁及び契約事務審査会にて特名随意契約について審査、令和5年4月業務委託契約。	毎月: 広報紙、HP・SNS	○	○
	4月 6月 5月	5月 大正トンボロマルシェの実施及び効果測定	広報紙、HP・SNS	○	○
	7月 9月 5月	7月 Taishoさんぽ日和の実施及び効果測定 マルシェ及び空家まち歩きの総括、継続実施等について検討・令和6年度予算について検討	広報紙、HP・SNS	○	○
	10月 12月 5月	10月 Taishoさんぽ日和の実施及び効果測定 11月 大正トンボロマルシェの実施及び効果測定 マルシェ及び空家まち歩きの総括、継続実施等について検討・令和6年度予算について検討	広報紙、HP・SNS	○	○
	3月 1月 5月	継続実施等に向けた検討・調整		○	○
備考					

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	令和5年4月から令和5年12月まで		
	開催場所	大正トンポロマルシェ:千島公園 Taishoさんぽ日和:大正区内		
	区役所の主催等	主催		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	開催時間:10時～16時		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	区広報紙、ホームページ、ポスター、チラシ等		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		令和4年10月～令和5年3月 大正トンポロマルシェ及びTaishoさんぽ日和を毎月第4日曜日に開催(計6回)		
業績目標	実績	事業実施 大正トンポロマルシェ:5月、11月 計2回実施 Taishoさんぽ日和:7月、10月 計2回実施	大正トンポロマルシェ: 5月、11月 計2回実施 Taishoさんぽ日和: 7月、10月 計2回実施	自己評価 ○
成果目標	実績	・賑わい創出事業に参画した事業者のうち、事業継続を望むと答えた者:90%以上 ・賑わい創出事業に参加した来場者のうち、本事業がまちの魅力であり、まちの活性化にもつながっていると感じると答えた者の割合:90%以上 ・区の施策が都市活動の活性化とまちの活力の向上につながっていると感じる割合:75%以上(区民意識調査)	・賑わい創出事業に参画した事業者のうち、事業継続を望むと答えた者:100% ・賑わい創出事業に参加した来場者のうち、本事業がまちの魅力であり、まちの活性化にもつながっていると感じると答えた者の割合:96.4% ・区の施策が都市活動の活性化とまちの活力の向上につながっていると感じる割合:61.1%	×
中期展望		大正区の強みが区内外を問わず広く認知されエリア価値が向上している状態。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		賑わい創出事業に参画した事業者が大正区での事業継続を希望し、また、来場者が本事業をまちの活性化につながっていると感じることは、大正区が出店する場所、暮らす場所として魅力的であると考えられていることを示しており、ひいてはエリア価値の向上に繋がるものと考えられるため		

SDGsゴール	11	住み続けられるまちづくりを
	17	パートナーシップで目標を達成しよう

修正履歴	
------	--

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
地6	ものづくり企業連携事業	令和5年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	大正区内の高度な技術を有するオンリーワン企業や、創業から100年を迎える伝統のある企業が多く存在するというのは地域の最大の資源(強み)である。 ものづくりのまちとしての独自ネットワークを活用し、産業振興や人材の育成を通じて、地域課題の解決を図るとともに、世界や日本の繁栄に貢献するまちづくりに寄与することをめざす。
	内容	大正区役所は、区内ものづくり企業等にて構成されている「大正・港・西淀川ものづくり事業実行委員会」において、大正区長は委員として、大正区役所は事務局として次の事業に参画する。なお、令和4年度より新たに西淀川区役所が実行委員会に加わったため、名称に「西淀川」を追加している。 【連携事業】 □医工福連携 □ものづくりフェスタ □オープンファクトリー □工場見学 【大正・港・西淀川ものづくり実行委員会と区役所の関係性】 ○区役所の実行委員会への関わり方 ・大正区長:実行委員会委員 ・大正区役所:実行委員会事務局 ○区役所の実行委員としての役割 ・国・他都市・民間企業・学校・地域団体等との対外的な窓口・折衝・調整 ・区の施策として位置づけ、事業連携・協力 ・区広報媒体等を活用した広報・宣伝 ・場の提供 ○区役所の事務局としての役割 ・実行委員会等の開催に際した資料作成・委員等関係者との連絡調整・開催準備等 ・事業実施にかかる意見集約・事務局案等の作成 ○参画企業の役割 ・事業企画提案 ・事業実施に向けた事前準備、実施当日の実動 なお、本実行委員会の事務局業務について、事務補助として会計年度任用職員を雇い入れることとしているが、当該雇入れについては次のとおり段階的に削減する。 ○会計年度任用職員雇入れ(3事業:ものづくりフェスタ、大正・港オープンファクトリー、工場見学会) 令和3年度 2か月×3事業 ⇒ 令和4年度 1ヶ月×3事業 ⇒ 令和5年度 なし
	予算額(予算科目)	53千円(費用弁償)、192千円(消耗品費)、63千円(通信運搬費)
	事業実施期間(回数)	-
	事業対象者(人数)	-
委託関係	契約・入札方法	-
	募集要項のポイント	-
	仕様書のポイント	-
	選考委員等選考方式	

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月5月3月 随時 [全事業]外部との折衝、広報協力、連携を実施 [工場見学会]受付、実施、広報		○	○
6月5月	随時 [全事業]外部との折衝、広報協力、連携を実施。 [工場見学会]受付、実施、広報 4月 大正・港・西淀川ものづくり事業実行委員会 [ものづくりフェスタ]企画会議の開催 5月 [ものづくりフェスタ]企画会議の開催 6月 [ものづくりフェスタ]企画会議の開催		○	○
9月7月5月	随時 [全事業]外部との折衝、広報協力、連携を実施 [工場見学会]受付、実施、広報 7月 [ものづくりフェスタ]広報チラシの配布(全小中学校生) 8月 [ものづくりフェスタ]開催 <u>9月 [ものづくりフェスタ総括会議]開催</u> <u>9月 [オープンファクトリー]企画会議</u>	[ものづくりフェスタ] 広報紙8月号、HP、SNS	○	○
10月2月5月	随時 [全事業]外部との折衝、広報協力、連携を実施 [工場見学会]受付、実施、広報 10月 [オープンファクトリー]参加者募集 <u>10月 [オープンファクトリー]企画会議</u> 11月 [オープンファクトリー]開催	[オープンファクトリー] 広報紙10月号、HP、SNS	○	○
3月1月5月	随時 [全事業]外部との折衝、広報協力、連携を実施 [工場見学会]受付、実施、広報 出展、協賛企業の募集		○	○
備考				

項目		内容		
講座・イベント・会議名		ものづくりフェスタ、大正・港・西淀川オープンファクトリー、工場見学会		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	実行委員会として参画(区長:委員、区役所:事務局)		
	その他主催団体・組織等	大正・港・西淀川ものづくり事業実行委員会		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		[医工福連携] 広報紙掲載: 令和4年度2回 「医工福」連携による取組が、区のブランド力の向上や区民の誇りになっていると回答した割合: 74.2%(令和4年度区民意識調査) [ものづくりフェスタ] 令和4年12月3日開催 参加者約500名 企業が地域の活動に寄与していると感じると回答した割合 51.3%(令和4年度区民意識調査) [オープンファクトリー] 参加者: 令和5年2月実施 参加者98名 令和3年度延期し令和4年5月実施分: 45名 オープンファクトリーを知っていると回答した割合 70.0%(令和4年度区民意識調査) [工場見学会] 見学会受入回数: 5回(令和4年度) 受入人数: 164名(令和4年度) 修学旅行向け工場見学会を知っていると回答した割合: 75.2%(令和4年度区民意識調査)		
業績目標	実績	[医工福連携] 広報紙掲載: 2回以上、HP掲載: 2回以上 [ものづくりフェスタ] 来場者: 700人以上 [オープンファクトリー] 参加者: 100名 [工場見学会] 見学会受入回数: 10回 受入人数: 300名	[医工福連携] 広報紙掲載: 2回、HP掲載: 2回 [ものづくりフェスタ] 令和5年8月5日開催 参加者約550人 [オープンファクトリー] 令和5年11月10・11日開催 参加者約100人 [工場見学会] 見学会受入回数: 11回 受入人数: 798名	自己評価 ×
成果目標	実績	[医工福連携] 「医工福」連携による取組が、区のブランド力の向上や区民の誇りになっていると回答した割合: 85%以上 [ものづくりフェスタ] 企業が地域の活動に寄与していると感じると回答した割合 54%以上 [オープンファクトリー] オープンファクトリーを知っていると回答した割合 70.0%以上 [工場見学会] 修学旅行向け工場見学会を知っていると回答した割合: 76.0%以上	[医工福連携] 66.9% [ものづくりフェスタ] 57.8% [オープンファクトリー] 77.7% [工場見学会] 79.6%	×
中期展望		区内のものづくり企業が独自のネットワークを形成し、継続的に操業しつづけること。また、自立的、積極的に防災や防犯等のまちづくりや地域活動へ参画することにより、区民からの理解を得ることや、区民が地元企業に就労する等地域資源が循環し、「ものづくりのまち 大正」が企業(従業員)・区民にとって「誇り」と「生きる力」になっている状態。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		各種事業が区民に認知され、区のブランド力の向上や企業等による地域の活動への貢献が進むことは、区民のものづくりへの理解を促進し、企業や区民にとっての活力となるため。		

SDGsゴール	4	質の高い教育をみんなに
	8	働きがいも経済成長も
	9	産業と技術革新の基盤をつくろう

修正履歴	9月[ものづくりフェスタ総括会議]開催の追記 9月に実施予定であった「オープンファクトリー企画会議」を10月実施に修正
------	--

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
地7	大正区コミュニティ育成事業	令和5年4月1日 地域協働課(地域協働)	○	

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	大正区において、これまで培われてきた社会教育関係団体等のノウハウを活かし、地域団体・NPO等をはじめとした市民活動団体・企業等の様々な活動主体が地域活動に参画する仕組みを構築するとともに、地域コミュニティ同士のつながりをより一層強くすることで、住民主体のコミュニティの育成を図る。 また、多様な活動の主体と協働し、あらゆる世代の住民が地域活動に参加するきっかけをつくることで「自らの地域のことは自らの地域で決める」との自律した意識のもと、コミュニティを基盤とした地域福祉、地域防災、地域コミュニティの充実と区民相互のつながりづくりの活性化を図ることを目的とする。
	内容	上記の目的を踏まえて、単にイベントとして開催するのではなく、区民等との協働型事業として、次の業務を実施する。 (1)大正区民まつり (2)スポーツ大会(スポーツの集い) (3)生涯学習フェスティバル ※こども教育グループ事業 (4)区民ギャラリー
	予算額(予算科目)	6,470千円(報償金、通信運搬費、委託料)
	事業実施期間(回数)	令和5年4月1日～令和6年3月31日
	事業対象者(人数)	区民・区内全10地域
	契約・入札方法	公募型プロポーザル方式(こども教育グループと連携し生涯学習フェスティバルも合わせて公募する。)
委託関係	募集要項のポイント	本事業は、区や地域への愛着を高め、「自ら地域のことは自らの地域で決める」との自律した意識のもと、地域福祉、地域防災、地域コミュニティの充実につながる住民主体のまちづくり活動を推進するために区民相互のつながりづくりの活性化を図ることを目的としており、行政にはない新たな発想や専門的な知識、経験などのノウハウを民間事業者に求め、価格以外の要素も含めて総合的に提案内容を判断する。
	仕様書のポイント	事業目的を達成するためには、市民活動団体・企業等との協議・連携による区民等との協働により実施する必要がある、単にイベントとして実施するのではなく、区民相互のつながりを深め、広く地域住民や地域の各種団体が参画する仕組みづくりに資する取組みを求める。
	選考委員等選考方式	専門知識を持つ外部委員3名による選考会議にて選定

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月5日 3月 【1月】プロポーザル公募開始 【3月】プレゼンテーション・選定会議 【3月】出展受付(区民ギャラリー)	ホームページに募集案内を掲載	○	○
6月5日	【通年】事業実施(区民ギャラリー) 【4月】事業報告書等提出		○	○
9月5日	事前準備(各種団体、企業等との調整)	広報紙・HP掲載、フェイスブック、ツイッター	○	○
10月5日	【10月】事業実施(区民まつり) 【11月】事業実施(生涯学習フェスティバル)	広報紙・HP掲載、フェイスブック、ツイッター	○	○
3月5日	【1月】プロポーザル公募開始 【3月】プレゼンテーション・選定会議 【3月】出展受付(区民ギャラリー) 【2月】事業実施(スポーツ大会)	ホームページに募集案内を掲載	○	○
備考				

項目		内容		
講座・イベント・会議名		①大正区民まつり、②スポーツ大会(スポーツの集い)、③生涯学習フェスティバル、④区民ギャラリー		
イベント等開催関係	開催日時	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
	開催場所	大正区役所他		
	区役所の主催等	区役所		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	区内各種団体・区内業種団体・企業		
	目標事業規模	区内10(小学校下)地域の参加		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	・大正区民まつり(10月第3日曜日) ・生涯学習フェスティバル(11月第3日曜日) ・スポーツ大会(2月第3日曜日) ・区民ギャラリー(通年)		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
動員の方法	区広報紙、ホームページ、ポスター、チラシ等			
その他他課との連携等		—		
前年度実績		地域まちづくり実行委員会(地域活動協議会)や自治会・町内会、子ども会など、地域にお住まいの方々が構成された団体(地縁型団体)が行う活動に参加していると回答した割合23.2%(令和4年度)		
業績目標	実績	区内10(小学校下)地域の参加	区内10(小学校下)地域の参加	自己評価 ○
成果目標	実績	地縁型団体が行っている行事やボランティア活動等、地域での活動に参加していると回答した割合:23.2%以上	21.3%	△
中期展望		地域の「子育て・教育」「魅力と潤いのあるまちづくり」「見守り支え合うくらし」「安全・安心」について、みんなが話し合い、協力しながらまちづくりを推進し、自らの地域のことは自らの地域で決めていける状態		
成果目標が中期展望に寄与する理由		地域団体のほか、市民、NPO、企業等の様々な活動主体が地域活動で、これらの主体と協働することで、相互のつながりの強化につながるため		
SDGsゴール	17	パートナーシップで目標を達成しよう		
	11	住み続けられるまちづくりを		
修正履歴	7月～9月の広報スケジュールに、広報紙・HP掲載、フェイスブック、ツイッターを追記			

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
地8	地域まちづくり実行委員会に対する支援事業	令和5年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	地域まちづくり実行委員会が準行政的機能や総意形成機能を担うとともに、「地域福祉」、「地域防災」、「地域コミュニティ」の強化をはじめとする各地域の特性に即した課題の解決に向けた取組をより一層自律的に進めていけるよう、適切な支援を行う。
	内容	【財政的支援】 ・区長指定の活動分野における、各地域の自律的な地域活動および地域まちづくり実行委員会の運営に対し、地域活動協議会補助金を交付する。 【機能的支援】 ・地域の実情や特性に即した地域運営を促進するため、中間支援組織を活用した積極的支援を行う。
	予算額(予算科目)	41,281千円(補助金27,032千円 委託料他14,249千円)
	事業実施期間(回数)	令和5年4月～令和6年3月
	事業対象者(人数)	区内全10地域まちづくり実行委員会
委託関係	契約・入札方法	【機能的支援】公募型プロポーザル方式
	募集要項のポイント	地域まちづくり実行委員会に期待される機能を備えるための効果的・効率的な支援を行うことのできる民間事業者を選定するため、支援手法に関する専門知識、ノウハウや経験など価格以外の要素も含めて総合的に判断する。
	仕様書のポイント	地域福祉、地域防災機能の強化をはじめ、SNSを活用した情報発信力などのICTリテラシーの向上に対する支援を通じて、各地域まちづくり実行委員会を中心とした地域コミュニティの強化につながるよう、各地域の実情に応じた効果的かつ積極的な支援策について、企画提案を求める。
	選考委員等選考方式	まちづくり、地域コミュニティの運営に関する有識者

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月5月 3月	【通年】地域まちづくり実行委員会の自律的運営に対する効果的・積極的支援 【2月】令和5年度補助金申請締切 【3月】令和5年度中間支援組織にかかる事業者選定会議 【3月】令和4年度補助金事業の終了	○	○
6月	4月5月	【通年】地域まちづくり実行委員会の自律的運営に対する効果的・積極的支援 【4月】令和4年度補助金事業決算、令和5年度補助金交付決定 【5月】令和5年度補助金事業説明会	○	○
9月	7月5月	【通年】地域まちづくり実行委員会の自律的運営に対する効果的・積極的支援 【9月】令和5年度補助金事業中間チェック説明会	○	○
12月	10月5月	【通年】地域まちづくり実行委員会の自律的運営に対する効果的・積極的支援 【11月】令和6年度補助金事業にかかる申請説明会 【12月】令和6年度中間支援組織にかかる事業者公募開始	○	○
3月	1月5月	【通年】地域まちづくり実行委員会の自律的運営に対する効果的・積極的支援 【1月】令和6年度中間支援組織にかかる事業者公募開始 【2月】令和6年度補助金申請締切 【2月】令和6年度中間支援組織にかかる事業者選定会議 【3月】令和5年度補助金事業の終了	○	○
備考				

項目		内容	
講座・イベント・会議名		地域活動協議会補助金にかかる説明会	
イベント等開催関係	開催日時	5月、9月、 11 12月	
	開催場所	区役所及び各地域	
	区役所の主催等	主催	
	その他主催団体・組織等	－	
	共催団体・組織等	－	
	後援団体・組織等	－	
	目標事業規模	－	
	その他留意事項	－	
	イベント等 当日タイムテーブル	－	
	挨拶者	大正区長及び大正区副区長	
	来賓紹介	－	
	祝電紹介の方法	－	
動員の方法	－		
その他他課との連携等		準行政的機能や総意形成機能を担うとともに、「地域福祉」、「地域防災」、「地域コミュニティ」の強化をはじめとする各地域の特性に即した課題の解決に向けて取り組む地域まちづくり実行委員会の活動は、区政に密接に関わるものであるとともに、その活動分野は多岐にわたることから、全庁的に連携し支援する必要がある。	
前年度実績		・各地域まちづくり実行委員会が、区長の指定する分野の事業を実施する(事業数・内容は各地域の実情に応じて異なる)10地域(R4) ・地域活動協議会補助金の趣旨について、地域まちづくり実行委員会の会議の場などで説明を行った件数3回(R4) ・地域まちづくり実行委員会を知っていると回答した割合 55.6%(R4) ・地域まちづくり実行委員会の構成団体が、大阪市やまちづくりセンター等から自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合91.4%(R4) ・まちづくりセンター等の支援を受けた団体が、支援に満足している割合 88.3%(R4)	
業績目標	実績	・各地域まちづくり実行委員会が、区長の指定する分野の事業を実施する(事業数・内容は各地域の実情に応じて異なる)10地域(R4) ・地域活動協議会補助金の趣旨について、地域まちづくり実行委員会の会議の場などで説明を行った回数 3回(R4)	・各地域まちづくり実行委員会が、区長の指定する分野の事業を実施する(事業数・内容は各地域の実情に応じて異なる)10地域 ・地域活動協議会補助金の趣旨について、地域まちづくり実行委員会の会議の場などで説明を行った回数 3回 自己評価 ○
成果目標	実績	・地域まちづくり実行委員会を知っていると回答した割合: R3年度(57.5%)以上 ・地域まちづくり実行委員会の構成団体が、大阪市やまちづくりセンター等から自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合: 前年度(91.4%(R4))以上 ・まちづくりセンター等の支援を受けた団体が、支援に満足している割合: R3年度(89.9%)以上	・地域まちづくり実行委員会を知っていると回答した割合: 43.6% ・地域まちづくり実行委員会の構成団体が、大阪市やまちづくりセンター等から自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合: 92.7% ・まちづくりセンター等の支援を受けた団体が、支援に満足している割合: 92.9% ×
中期展望		各地域まちづくり実行委員会の取り組む「防災、防犯など安心・安全なまちづくりにかかる取組み及び地域福祉、子育て支援、地域コミュニティづくりなどその地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組」が自律的に進められている。	
成果目標が中期展望に寄与する理由		地域運営に取り組む地域まちづくり実行委員会の構成団体に対し適切な支援が実施され、同実行委員会が取り組む地域活動が地域住民に認知されることで、自律的な地域運営が推進されることから、中期展望に寄与することが期待できる。	

SDGsゴール	11	住み続けられるまちづくりを

修正履歴	スケジュールについて、令和6年度補助金事業にかかる申請説明会を11月から12月に、令和6年度中間支援組織にかかる事業者公募開始を12月から1月に修正。 イベント等開催関係について、開催日時を11月から12月に修正。
------	--

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
地9	地域まちづくり実行委員会のつながりの拡充にかかる支援	令和5年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	各地域まちづくり実行委員会が地域課題の解決を自律的に進められる状態となるよう、各団体間での情報交換や情報共有を促し、各地域の「自助・共助」の取組みの活性化を図ることを目的とする。
	内容	【大正区地域まちづくり実行委員会委員長会の開催】 区施策への協議・議論の場として、各地域まちづくり実行委員会委員長等と意見交換を行うとともに、各団体間での情報交換や情報共有を行う。 また、各地域まちづくり実行委員会が地域自治の中心的役割を担うために必要な、総意形成機能を発揮する機会を促す。 (例)・地域活動協議会補助金の活用にかかる決定 ・地域要望のとりまとめ ・区から地域に依頼する各種委員の各地域での推薦者の決定 ・街路樹の剪定など、区や局が実施する各地域の固有案件にかかる意見聴取 ・地域集会施設の建替にかかる最終決定 など 【地域担当職員による地域情報の共有】 地域の自律的な地域運営を支援し、区民が主役の区政運営を推進するため、地域担当制職員による地域行事や地域活動、地域団体の会議等への参加や地域の担い手へのヒアリング等による地域情報の把握及び整理を行う。
	予算額(予算科目)	—
	事業実施期間(回数)	通年
	事業対象者(人数)	区内全10地域活動協議会
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月5月3月	【1・3月】地域まちづくり実行委員会委員長会開催 令和5年度区役所事業などについて 審議・協議・意見交換など		○
	4月5月6月	【4・5月】地域まちづくり実行委員会委員長会開催 区役所への申出制度の紹介について 審議・協議・意見交換など 月1回程度の地域担当制職員による全体会議の開催 地域担当制職員による各地域団体の会議等への参加および情報共有		○
	7月9月	【7・9月】地域まちづくり実行委員会委員長会開催 地域活動協議会補助金中間チェックについて 審議・協議・意見交換など 月1回程度の地域担当制職員による全体会議の開催 地域担当制職員による各地域団体の会議等への参加および情報共有		○
	10月12月	【10・11月】地域まちづくり実行委員会委員長会開催 令和6年度補助金申請について 審議・協議・意見交換など 月1回程度の地域担当制職員による全体会議の開催 地域担当制職員による各地域団体の会議等への参加および情報共有		○
	3月5月	【1・3月】地域まちづくり実行委員会委員長会開催 令和5年度補助金の決算について、令和6年度区役所事業について 審議・協議・意見交換など 月1回程度の地域担当制職員による全体会議の開催 地域担当制職員による各地域団体の会議等への参加および情報共有		○
備考				

項目		内容		
講座・イベント・会議名		大正区地域まちづくり実行委員会委員長会		
イベント等開催関係	開催日時	年8回以上		
	開催場所	区役所会議室など		
	区役所の主催等	事務局		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	【事前準備】 ・依頼・報告事項エントリーシート及び関係書類の提出：開催10日前 ・区長とのレク：開催8日前 ・代表幹事とのレク：開催7日前 【会議内容】 ・代表幹事あいさつ、区長あいさつ、審議・協議・報告事項及び質疑応答・意見交換、まちづくりセンターからのお知らせ、その他		
	挨拶者			
その他他課との連携等		準行政的機能や総意形成機能を担うとともに、「地域福祉」、「地域防災」、「地域コミュニティ」の強化をはじめとする各地域の特性に即した課題の解決に向けて取り組む地域まちづくり実行委員会の活動は、区政に密接に関わるものであるとともに、その活動分野は多岐にわたることから、全庁的に連携し支援する必要がある。		
前年度実績		・大正区地域まちづくり実行委員会委員長会の開催：8回(R4) ・地域まちづくり実行委員会の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合：95.0%(R4)		
業績目標	実績	大正区地域まちづくり実行委員会委員長会の開催 年8回以上	年8回	自己評価 ○
成果目標	実績	地域まちづくり実行委員会の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合：前年度(95.0%(R4))以上	93.4%	△
中期展望		・各地域における課題解決やまちづくりの推進に向け、各地域まちづくり実行委員会の長による定期的な協議・議論や情報交換・共有などを通じて、小学校区単位にとどまらず中学校区のコミュニティ強化や連携などにかかる各地域の取組が活性化している状態。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		地域自治の中心的役割を担う各地域まちづくり実行委員会が、自律的に地域運営に取り組んでいる状態となることで、中期展望に寄与することが期待できる。		

SDGsゴール	11	住み続けられるまちづくりを

修正履歴	
------	--

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
地10	区民協働による魅力活性化事業	令和5年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	区の特徴を活かした文化事業や多様な世代が参画できる事業を、大正区わがまちビジョン運営委員会と区役所が相互に協力・連携し、地域・学校等も巻き込んだ事業形態として実施することで、行政だけでは実現できない相乗効果を生むことにより大正区への愛着を高めるとともに、地域コミュニティの充実につながる住民主体のまちづくり活動の推進に寄与することを目的とする。
	内容	○大正区わがまちビジョン運営委員会と連携し次の事業を行う。 ・10年後の手紙:大正区内の小学校4年生に、「10年後の私へ」というテーマで手紙を書いてもらい、10年後の成人式にて返却する。 ・文楽公演:大阪が誇る伝統芸能である「文楽」に触れる機会を提供し、文化の普及・振興を図るとともに身近に「文楽」に触れる場のある地域への愛着を高める。 ・樹木札の設置:区内の子ども達が自然に親しむ機会として、「樹木札設置」を、八幡屋公園事務所(建設局)、小学校、こども会、わがまちビジョン運営委員会と協働して実施する ○大正区わがまちビジョン運営委員会が企画・立案する事業について、協定書に基づき連携・協力を行う。
	予算額(予算科目)	685千円(消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、委託料)
	事業実施期間(回数)	樹木札の設置:年1回、10年後の私への手紙:年1回(成人の日のつどいの日に開催)、文楽体験と公演:年1回
	事業対象者(人数)	区内在住・在学・在勤者
委託関係	契約・入札方法	随意契約(比較見積)
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決算、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月 5月 3月	【1月】10年後の手紙事業実施 【1月】文楽体験と公演事業実施 【2月】10年後の手紙:小学校より手紙回収、整理・保管 【2月】第4回大正区わがまちビジョン運営委員会・区役所連絡会開催	—	○ ○
	6月 4月 5月	【5月】第1回大正区わがまちビジョン運営委員会・区役所連絡会開催		○ ○
9月 7月 5月	【7月】第2回大正区わがまちビジョン運営委員会・区役所連絡会開催 【8月】文楽体験と公演:委託契約締結 【8月】文楽体験と公演:チラシ・ポスター作成、印刷 【9月】10年後の手紙:学校、区子連周知依頼		○ ○	○ ○
	10月 2月 5月	【10月】第3回大正区わがまちビジョン運営委員会・区役所連絡会開催 【10月】樹木札の実施 【12月】文楽体験と公演:一般参加者募集 【12月】10年後の手紙:成人式案内状にて周知 【12月】第4回大正区わがまちビジョン運営委員会・区役所連絡会	広報紙・HP掲載、フェイスブック、ツイッター	○ ○
3月 1月 5月	【1月】10年後の手紙事業実施:新成人に手紙を返却(成人式当日) 【1月】文楽体験と公演:一般参加者募集 【12月】文楽体験と公演事業実施。事業報告書提出。 【2月】10年後の手紙:小学校より手紙回収、整理・保管 【3月】第5回大正区わがまちビジョン運営委員会・区役所連絡会開催	広報紙・HP掲載、フェイスブック、ツイッター	○ ○	○ ○
備考				

項目		内容			
講座・イベント・会議名		①樹木札設置②10年後の手紙③文楽公演			
イベント等開催関係	開催日時	①令和5年 4 10月頃②成人式当日③令和6年 12 月頃			
	開催場所	藤井組大正区民ホール他			
	区役所の主催等	共催			
	その他主催団体・組織等	—			
	共催団体・組織等	大正区わがまちビジョン運営委員会			
	後援団体・組織等	②「大正区成人式」運営委員会、大正区子ども会育成連合協議会			
	目標事業規模	—			
	その他留意事項	—			
	イベント等 当日タイムテーブル	① 9:00 会場設営 10:00 樹木札設置 11:00 アンケート 後片付け	② 10:30 会場設営 11:00 受付開始 13:00 受付終了 後片付け	③ 9:00 会場設営 13:30 受付開始 14:00 上演開始 15:30 上映終了 後片付け	
	挨拶者	大正区わがまちビジョン運営委員会委員長、区長			
	来賓紹介	—			
祝電紹介の方法	—				
動員の方法	区広報紙・ホームページ、チラシ、ポスター等				
その他他課との連携等		—			
前年度実績		10年後の手紙返却率71.8%、手紙を取りにきた新成人の人数411名(令和4年度) 参加者アンケートにおいて、「文楽体験と講演」を通じて、より大正区や地域に愛着を感じられると答えた割合:96.2%(令和4年度) 樹木札の設置に参加した31名(令和4年度) 区民協働による魅力活性化事業(「子どもたちによる公園への樹木札設置」、「小学4年生を対象とした10年後の私への手紙」、「文楽公演と体験」、)が、区や地域への愛着の向上につながっていると回答した割合:59.8%(3事業平均)			
業績目標	実績	大正区わがまちビジョン運営委員会との協働により実施した事業数:年3事業以上	年3事業	自己評価 ○	
成果目標	実績	区民協働による魅力活性化事業(「子どもたちによる公園への樹木札設置」、「小学4年生を対象とした10年後の私への手紙」、「文楽公演と体験」、)が、区や地域への愛着の向上につながっていると回答した割合:59.8%以上(3事業平均)	区民協働による魅力活性化事業が、区や地域への愛着の向上につながっていると回答した割合:63.9%(3事業平均)	○	
中期展望		地域コミュニティを基盤とした地域防災、地域福祉をはじめとする住民主体のまちづくりが行われている状態。			
成果目標が中期展望に寄与する理由		事業を通じて区や地域への愛着が向上し、これまで地域活動に参画していなかった区民が参画することにつながることを期待され、住民主体のまちづくり活動の推進が図られるため。			

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
地11	区役所コンサート	令和5年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	プロの演奏家による上質な音楽を鑑賞する機会を区民に提供することにより、音楽が区民にとって身近なものとなり、区民自身が音楽に携わるきっかけとなることで、まちに音楽があふれ、大正区の魅力のひとつとなることを目的とする。
	内容	大正区への親しみや区民としての誇りの醸成につながるプロの演奏家による無料のコンサートを開催する。 新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、演奏家と来場者及び来場者同士の距離を確保する等、密集・密接を回避し、また、手指消毒や来場者情報の把握する等、感染予防について対策を講じたうえで開催する。
	予算額(予算科目)	206千円(役務費、委託料)
	事業実施期間(回数)	3回(10月、12月、2月)
	事業対象者(人数)	来庁者
委託関係	契約・入札方法	随意契約(比較見積)
	募集要項のポイント	
	仕様書のポイント	プロの演奏家によるコンサートを企画・実施する。 企画内容は、毎回異なる声楽や器楽演奏などの室内楽を基本とし、本業務目的を達成しうるプロの演奏家を派遣できるものに業務委託する。
	選考委員等選考方式	随意契約(比較見積)

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)			広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月 5 3月	2月:第3回区役所コンサート	毎月 広報紙、区HP・SNS	○	○
	4月 5	6月:委託業務契約事務		○	○
	7月 5		広報紙、HP・SNS	○	○
	10月 2月 5	10月:第1回区役所コンサート 12月:第2回区役所コンサート	毎月 広報紙、区HP・SNS	○	○
	3月 5	2月:第3回区役所コンサート	毎月 広報紙、区HP・SNS	○	○
備考					

項目		内容		
講座・イベント・会議名		区役所コンサート(3回)		
イベント等開催関係	開催日時	10月、12月、2月		
	開催場所	区役所2階さわか広場等		
	区役所の主催等	大正区役所主催		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
その他課との連携等		—		
前年度実績		参加者:令和4年度 R4.10 70名 R4.12 86名 R5.3 115名 集客可能人数の100%以上 事業が区民の文化意識の高揚や大正区におけるシビックプライドの醸成につながると回答した割合:60.5%(令和4年度)		
業績目標	実績	区役所コンサートを年3回実施	R5.10 R5.12 R6.2 3回実施	自己評価 ○
成果目標	実績	・区民意識調査で事業が大正区への親しみや区民としての誇りの醸成につながると回答した割合:61%以上 ・令和4年度の集客人数を維持	区民意識調査(R5) 62.6% (集客人数) R5.10 125名 R5.12 88名 R6.2 125名 合計338名 (R4)271名	○
中期展望		大正区において音楽が身近な存在となり、にぎわいと魅力あふれるまちをめざす。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		大正区への親しみや区民としての誇りの醸成に繋がると評価されることは、音楽が区民にとって有益であり、また、区民の関心を惹きつける存在となり、区民が音楽に携わる可能性を高めることとなるため。		

SDGsゴール	17	パートナーシップで目標を達成しよう

修正履歴	
------	--

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
地12	スポーツ推進委員活動の支援	令和5年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	本市では従来より市民一人ひとりが日常的に、スポーツ・レクリエーション活動に親しむことができるように、その普及・振興を推進しているところである。 教育長より委嘱を受けたスポーツ推進委員が、特に活動の拠点を地域において、住民との連帯の中でスポーツ・レクリエーション事業の企画・立案を行い、委員相互の協力体制のもと活発に事業の発展をはかることにより、本市における生涯スポーツの振興のより一層の充実を図る。
	内容	・改選事務(2年毎): 令和6・7年度委嘱 候補者の推薦依頼(区→まちづくり実行委員会等)、候補者の推薦(区→経済戦略局) 新たな担い手確保に向けて、広報等による支援 ・支出事務 報酬の支払い(年2回:9月・3月) (参考)スポーツ推進委員の主な任務 ・地域(町会・小中学校区等)におけるスポーツ・レクリエーション事業の企画・実施 ・市・区におけるスポーツ・レクリエーション事業への参画並びに協力
	予算額(予算科目)	292千円(報償金:経済戦略局からの配布予算)
	事業実施期間(回数)	委嘱期間:2年(令和4年4月～令和6年3月)
	事業対象者(人数)	主に区内在住・在学・在勤者
委託関係	契約・入札方法	地域団体からの推薦
	募集要項のポイント	
	仕様書のポイント	
	選考委員等選考方式	

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)			広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月 5 3月	【3月】報酬の支払い(下半期分)	委員募集と 紹介記事の 掲載 活動につい ての情報発 信(区ホーム ページ・ツ イッター・フェ イスブック)随 時	○	○
6月	4月 5	【4～6月】区定例会への出席(区との連絡・確認事項があれば)		○	○
9月	7月 5	【8月】候補者の追加推薦(区→経済戦略局) 【9月】報酬の支払い(上半期分) 【7～9月】区定例会への出席(区との連絡・確認事項があれば)		○	○
12月	10月 5	【10～12月】区定例会への出席(区との連絡・確認事項があれば) 【12月】候補者の推薦依頼(各地域)		○	○
3月	1月 5	【2月】候補者の推薦(区→経済戦略局) 【3月】報酬の支払い(下半期分) 【1～3月】区定例会への出席(区との連絡・確認事項があれば)		○	○
備考					

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	委嘱者27名		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル			
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		スポーツ推進委員が活動している地域数:10地域(令和4年度) 区民意識調査におけるスポーツ推進委員の活動が大正区における生涯スポーツの振興に役立っていると回答した割合:56.6%(令和4年度)		
業績目標	実績	スポーツ推進委員によりスポーツ・レクリエーションの普及・振興に関する活動が実施されている地域数:10地域	10地域	自己評価 ○
成果目標	実績	・区民意識調査でスポーツ推進委員の活動が各校下における生涯スポーツの振興に役立っていると回答した割合:56.6%以上	58.3%	○
中期展望		スポーツ推進委員が、活動の拠点を各校下において、住民との連帯の中でスポーツ・レクリエーション事業の企画・立案を行い、委員相互の協力体制のもと活発に事業が開催され、地域における生涯スポーツの振興のより一層の充実が図られている状態。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		スポーツ推進委員が実施するスポーツ・レクリエーション事業が各校下における生涯スポーツの振興に役立つことによって、参加者の増加が見込まれ、地域における生涯スポーツの振興の充実が図られるため。		

SDGsゴール	17	パートナーシップで目標を達成しよう

修正履歴	
------	--

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
地13	大正区成人式の実施	令和5年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	新成人としての自覚や地域に見守り、育てられ健全に成長を遂げたことへの感謝を促すとともに、青少年健全育成に関する各種団体と協力し、新成人を祝い励ますことにより、区内における諸活動の担い手へと繋がるよう、新成人と各種団体間のコミュニティづくりを行う。
	内容	大正区成人式を青少年指導員・青少年福祉委員・子ども会など地域団体によって組織された大正区成人式運営委員会と連携して開催する。
	予算額(予算科目)	182千円(報償金、消耗品費、通信運搬費、筆耕翻訳料、損害保険料)
	事業実施期間(回数)	年1回(10月～1月):「大正区成人式」の実施(準備含む)
	事業対象者(人数)	区民(在住・在勤・在学)および青少年健全育成に関心のある方、新成人
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月～3月 【1月】運営委員会、事前準備(新成人代表による前日リハーサルの実施)・事業実施 【12月・1月】開催日時の周知	区広報紙、HPで開催日時について広報	○	○
6月		—	—	—
9月	【9月】・実施起案、運営委員会開催	区広報紙、HPで事業の実施について広報	○	○
10月	【10月】・実施起案、運営委員会開催、各種団体・企業等への協賛の依頼 ・対象者(新成人)に案内状発送(、新成人代表の選考) 【12月】・10年後の手紙事業について連携	区広報紙、HPで事業の実施について広報	○	○
3月	【1月】・運営委員会開催、事前準備(新成人代表による前日リハーサルの実施)・事業実施		○	○
備考				

項目		内容		
講座・イベント・会議名		大正区成人式		
イベント等開催関係	開催日時	令和6年1月8日(日)※時間詳細は「イベント等タイムテーブル」欄参照		
	開催場所	大正区民ホール		
	区役所の主催等	主催		
	その他主催団体・組織等	「大正区成人式」運営委員会		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	大正区政協力会、大阪大正ライオンズクラブ ほか		
	目標事業規模	各種団体の協力を得て参加者 400人		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	【区事業】 9:30 みおつくしの鐘打鐘 10:00 受付開始(「10年後の私への手紙」の返却) 10:30 第1部開始(式典)/区長あいさつ/関係団体祝辞等/新成人誓いの言葉 【運営委員会事業】 11:00 第2部開始(アトラクション) 12:30 終了		
	挨拶者	区長、大正区成人式運営委員長(新成人代表) ほか		
	来賓紹介	各会長、ライオンズクラブ会長、議員		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	区広報紙・ホームページ、ポスター、チラシ等		
その他他課との連携等		わがまちビジョン運営委員会(「10年後の私への手紙」の返却)		
前年度実績		・新成人の参加率:71.8%(令和4年度) ・区民意識調査において、本事業が「青少年が健全に育つ環境づくりに効果がある」と回答した割合:71.2%(令和4年度)		
業績目標	実績	区広報紙や区HPを活用し、新成人の参加率71.8%以上	新成人の参加率72.8%	自己評価 ○
成果目標	実績	区民意識調査において、本事業が「青少年が健全に育つ環境づくりに効果がある」と回答した割合が71.2%以上	72.1%	○
中期展望		各種関係団体相互の連携の充実を図りながら、将来を担う子どもたちが地域で健全に育つ環境を実現している状態。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		本事業が大正区内の青少年健全育成の推進につながることで、各種団体の活動への関心を高め、青少年と関わる人材の拡大が図られることから、地域において青少年を見守る環境が整い、青少年の健全な育成につながるため。		

SDGsゴール	4	質の高い教育をみんなに

修正履歴	【9月】・実施起案、運営委員会開催を追記 7月～9月の広報スケジュールに、区広報紙、HPで事業の実施について広報を追記 【10月】実施起案、運営委員会開催、各種団体・企業等への協賛の依頼を削除 10月の広報スケジュールから区広報紙、HPで事業の実施について広報を削除
------	--

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
地14	青少年指導員・青少年福祉委員活動の支援	令和5年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	青少年指導員・青少年福祉委員活動を推進することにより、住民との連携の下で地域における青少年の健全育成を図ることを目的とする。
	内容	要綱に基づき市長から委嘱を受けた「青少年指導員」・「青少年福祉委員」及び「ユースリーダー」と良好な関係を構築するとともに、青少年の健全育成に関する活動を支援する。 また、定例会へ適宜出席するなど、青少年指導員・福祉委員活動の把握と新たな担い手確保に向けて広報等による連携を強化する。
	予算額(予算科目)	1,657千円(交付金)
	事業実施期間(回数)	令和5年4月～令和6年3月
	事業対象者(人数)	区民(在住・在勤・在学)および青少年健全育成に関心のある方
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)			広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月 5 3月	【1～3月】活動実績確認 関係要綱等における区のルールについて、内容の見直しを検討 【3月】年間活動実績の確認 次年度事業実施起案	—	○	○
6月 5	4月 5	【毎月】市内統一指導ルーム、活動実績確認 【4月】前年度の実績報告書の審査及び精算報告書の作成・交付額確定通知等 【4月】交付金交付 【4～6月】区定例会への出席(区との連絡・確認事項があれば)	活動についての 情報発信 (区ホームページ・ ツイッター・ フェイスブック) 随時	○	○
9月 5	7月 5	【7～9月】区定例会への出席(区との連絡・確認事項があれば)		○	○
10月 5	10月 5	【10月】中間決算の確認 【10～12月】区定例会への出席(区との連絡・確認事項があれば)		○	○
3月 5	3月 5	【3月】年間活動実績の確認 次年度事業実施起案 【1～3月】区定例会への出席(区との連絡・確認事項があれば)		○	○
備考					

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	260人(青少年指導員124人、青少年福祉委員124人、地域選考会)		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル			
	挨拶者	—		
来賓紹介		—		
祝電紹介の方法		—		
動員の方法		—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		・区内小学校下(10校下)すべてで、青少年指導員、青少年福祉委員の活動が行われた。 区民意識調査において、本事業が「青少年が健全に育つ環境づくりに効果がある」と回答した割合が64.4%(令和4年度) 成人式での活動をホームページ、SNSに掲載した。(令和4年度)		
業績目標	実績	青少年指導員、青少年福祉委員により地域における青少年の健全育成活動および非行防止活動が実施されている地域数:10地域	10地域	自己評価 ○
成果目標	実績	区民意識調査において、本事業が「青少年が健全に育つ環境づくりに効果がある」と回答した割合 64.4%以上	61.5%	△
中期展望		各種関係団体相互の連携の充実を図りながら、将来を担う子どもたちが地域で健全に育つ環境を実現している状態。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		青少年指導員、青少年福祉委員の活動が大正区内の青少年健全育成の推進につながることにより、青少年健全育成に携わってもらえる人材の拡大が図られることから、地域において青少年を見守る環境が整い、青少年の健全な育成につながるため。		

SDGsゴール	4	質の高い教育をみんなに

修正履歴	
------	--

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
地15	区役所附設会館管理運営業務	令和5年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与することを目的とする。
	内容	【大正区民ホール】 施設利用申込の手続き、利用方法諸手続きの説明、予約・申込受付、使用料の徴収、使用許可書の交付、諸設備・機器等の管理、貸出、点検立会い、補修等 【大正会館】 指定管理者の管理業務の状況について、事業報告書や自己点検に係る書類等の点検・確認と実地調査、改修等
	予算額(予算科目)	40,939千円(改修整備予算額2,901千円を含む)消耗品費、印刷製本費、光熱水費、建物修繕費、通信運搬費、手数料、委託料、改修工事費
	事業実施期間(回数)	通年(4月～3月)
	事業対象者(人数)	主に区内在住・在学・在勤の方
委託関係	契約・入札方法	
	募集要項のポイント	
	仕様書のポイント	
	選考委員等選考方式	

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月～3月	【3月】指定管理者の自己点検結果報告に基づく実地調査の実施		○
6月	4月	【通年】 ・大正会館指定管理者との施設管理運営業務の調整(指定管理者による貸館業務、自己点検・結果報告、事業報告書提出、調整会議開催等) ・補修等を含む施設の良好な維持管理 ・大正区民ホールの施設利用申込みの受付及び許可書の交付(使用料の徴収含む)等		○
9月	7月	【7～8月】指定管理者の自己点検結果報告に基づく実地調査の実施 【7月】指定管理者制度における第三者委託の状況について公表 【8月】指定管理者の評価結果公表		○
12月	10月			○
3月	1月	【3月】指定管理者の自己点検結果報告に基づく実地調査の実施		○
備考				

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		<大正会館>利用率43.9%(R4)<大正区民ホール>利用率47.2%(R4) 区役所附設会館が市民利用施設として供用されていることで、地域におけるコミュニティ活動の振興、文化の向上及び福祉の増進、市民相互の交流の促進につながると回答した割合：<大正会館>54.2%(R4)<区民ホール>75.3%(R4)<噴水広場>68.2%(R4)		
業績目標	実績	区HPや区広報紙を活用した広報活動を行うことで、利用率を前年度より増やす。	大正会館(利用率 R4・43.9%R5・43.5%(見込み)) 大正区民ホール(利用率R4・47.2%・R5・45.4%(見込み))	自己評価 △
成果目標	実績	区民意識調査で区役所附設会館が市民利用施設として供用されていることで、地域におけるコミュニティ活動の振興、文化の向上及び福祉の増進、市民相互の交流の促進につながると回答した割合：全体の平均が65%以上	66.2%	○
中期展望		附設会館の利用により大正区における地域コミュニティが充実している。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		附設会館の利用が活発化することで、コミュニティ活動の振興、地域における文化の向上及び福祉の増進、市民相互の交流の促進、連帯感あふれるまちづくりの推進が図られることから、地域コミュニティの充実につながるため。		

SDGsゴール	11	住み続けられるまちづくりを

修正履歴	
------	--

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
地16	いざという時に備えた「自助」「共助」の推進	令和5年4月1日 地域協働課(防災防犯)	○	

項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)
	内容
	予算額(予算科目)
	事業実施期間(回数)
	事業対象者(人数)
委託関係	契約・入札方法
	募集要項のポイント
	仕様書のポイント
	選考委員等選考方式

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月～3月	【随時】津波避難ビル・福祉避難所候補先企業等への働きかけ 地域指定津波避難ビルから大阪市指定津波避難ビルへの切り替え ～3月 個別避難計画の作成にかかるモデル地域との協働及び 次年度実施計画(案)の作成		○
	4月～6月	①実施計画作成、令和5年度選定地域への説明等 計画策定済地域への運用支援 ⑤地域災害対策本部長・区役所連絡会の開催		○
	7月～9月	①令和5年度選定地域との協働による計画策定準備 計画策定済地域への運用支援 ②津波避難マップを活用した津波避難の啓発 ③感染症対策及び男女や要配慮者等のニーズに対応した地域防災訓練に対する支援 ⑤地域災害対策本部長・区役所連絡会の開催		○
	10月～12月	①令和5年度選定地域との協働による計画策定準備 計画策定済地域への運用支援 ②津波避難マップを活用した津波避難の啓発 ③感染症対策及び男女や要配慮者等のニーズに対応した地域防災訓練に対する支援 ⑤地域災害対策本部長・区役所連絡会の開催		○
	1月～3月	①令和5年度選定地域との協働による計画策定、次年度選定地域の決定 計画策定地域への運用支援		○
備考	【随時】 ②津波避難ビルの拡充にかかる施設管理者との調整 ④状況に応じた地区防災計画の更新にかかる支援			

項目		内容		
講座・イベント・会議名		地域災害対策本部長・区役所連絡会		
イベント等開催関係	開催日時	4月、 9月 、 <u>12月3日</u>		
	開催場所	大正区役所		
	区役所の主催等	主催		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	地域災害対策本部		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	地域災害対策本部長・区役所連絡会 会議開催 審議・協議・報告事項の説明及び意見交換、区役所からの連絡事項など		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等		危機管理室、その他関係機関／保健福祉課との連携		
前年度実績		区民意識調査で、津波の際にどの建物に避難するのを知っていると回答した割合：68.9%(R4) <u>区民意識調査で、災害に備えて、日頃から非常持出品や非常備蓄品の準備や、家族との連絡方法の確認など、自分自身を守る取組を行っている</u> と回答した割合：51.4%(R4) 要援護者名簿にかかる協定書を締結した地域のうち、個別避難計画を策定した地域：1地域(R4)		
業績目標	実績	要援護者名簿にかかる協定書を締結した地域のうち、個別避難計画を策定した地域：2地域以上	2地域	自己評価 ○
成果目標	実績	・区民意識調査で、津波の際にどの建物に避難するのを知っていると回答した割合：75.0% <u>・区民意識調査で、「自助」の取組を行っている</u> と回答した割合70%以上	66.4% 49.2%	×
中期展望		全地域で地区防災計画が自律的に運用され、全ての区民が安全に避難できる体制が構築されることをめざす。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		区民がいざという時の避難行動を日ごろから意識することで、「自助」・「共助」につながる防災意識の向上が図られるため。		
SDGsゴール	9	産業と技術革新の基盤をつくろう		
	11	住み続けられるまちづくりを		
	13	気候変動に具体的な対策を		
修正履歴	<u>【内容欄】【スケジュール欄】⑥⑦の事業を追記</u> <u>【イベント等開催関係欄】開催日時を修正</u>			

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
地17	地域防災力の向上にかかる「公助」の充実	令和5年4月1日 地域協働課(防災防犯)	○	

項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)
	内容
	予算額(予算科目)
	事業実施期間(回数)
	事業対象者(人数)
委託関係	契約・入札方法
	募集要項のポイント
	仕様書のポイント
	選考委員等選考方式

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月 5月 3月	大阪市震災総合訓練の実施 無線訓練の実施(4回目)		○
6月	6月 5月	①医薬品等ローリングストックにかかる医療機関との協定締結に向けた調整 ②無線訓練の実施(1回目) ③防災用物資の申請期限、防災用物資の選定(新型コロナ禍対策における必要物資を含む)	区広報紙 HP (水防団)	○
9月	7月 8月 9月	③防災活動支援申請物資の発注 8月 ⑤直近参集者等に対する研修の実施 ⑥無線訓練の実施(2回目)	区広報紙 HP (防災特集)	○
10月	10月 11月 12月	①医薬品等ローリングストックにかかる費用の支払いに向けた医療機関との調整 ④訓練に向けた職員研修の実施 ③防災活動支援申請物資の配備 ④大正区総合防災訓練の実施 11月 ⑤直近参集者等に対する研修の実施 12月 ⑥無線訓練の実施(3回目)		○
3月	1月 2月 3月	⑤大阪市震災総合訓練の実施(中止) ⑥無線訓練の実施(4回目) ②地域との2次避難歩行訓練	区広報紙 HP (防災訓練)	○
備考	【随時の取組】 ①医薬品等ローリングストックにかかる医薬品備蓄体制の維持管理 ②「2次避難計画」策定に向けた危機管理室・避難先区役所との調整など ③地域防災訓練等を活用した備品等の使用訓練			

項目		内容		
講座・イベント・会議名		A. 大正区総合防災訓練 B. 大阪市震災総合訓練 C. 地域災害対策本部との情報伝達訓練		
イベント等 開催関係	開催日時	A. 11月 10月29日 B. 1月 C. 6、9、 12、310、2 月		
	開催場所	A. 区役所・災害時避難所(17箇所)ほか区内各所 B. 区役所 C. 区役所・地域災害対策本部		
	区役所の主催等	主催		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	A. 大正区社会福祉協議会、大正消防署等 B. 大正消防署 C. 地域災害対策本部		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	A. 大正区役所職員、自主防災組織(全地域)、関係官公署、全小中学校等 B. 大正区役所職員、直近参集職員(他所属)、消防職員 C. 大正区役所職員、各地域本部		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	A. 大正区総合防災訓練 9:00 地震発生 初期初動訓練 区災害対策本部設置運用訓練 9:30 災害時避難所開設訓練・情報伝達訓練 11:30 訓練終了(振り返り、講評) B. 直近参集者等訓練 9:00 地震発生 参集訓練 区災害対策本部設置運用訓練 11:30 訓練終了(講評) C. 地域災害対策本部との情報伝達訓練 10:00 デジタルMCA無線機による情報伝達訓練		
	挨拶者	区長		
	来賓紹介			
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等				
前年度実績		・総合防災訓練(11/6)、直近参集者訓練実施(1/17)、地域防災訓練(8地域)(R4) ・大正区総合防災訓練において区本部の各班の業務を理解できたと回答した職員の割合:77.4%(R4)		
業績目標	実績	職員及び全地域並びに全小中学校参加による総合防災訓練の実施 1回	1回	自己評価 ○
成果目標	実績	・大正区総合防災訓練において区本部の各班の業務を理解できたと回答した職員の割合が前年度以上	84.6%	○
中期展望		防災訓練により地域や職員の災害対応力の強化や「公助」の充実が図られ、全ての区民が安全に避難できる体制が構築されることをめざす。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		区本部の初期初動体制の構築及び災害対応力の向上などの「公助」の充実が、地域防災力の向上につながると考えられるため。		
SDGsゴール	9	産業と技術革新の基盤をつくろう		
	11	住み続けられるまちづくりを		
	13	気候変動に具体的な対策を		
修正履歴		【スケジュール欄】 8月の⑤の事業について、実施月を11月に変更 ⑥の事業について、実施月を12月→10月、3月→2月に変更 1月の⑤の事業について、(中止)を追記・3月に②を追記 【イベント等開催関係欄】 Cの開催日時について、12・3月を10・2月に変更		

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
地18	地域防災リーダーの育成	令和5年4月1日 地域協働課(防災防犯)	○	

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	地域で率先して防災活動を実践する地域防災リーダーを区長が委嘱し、地域防災の担い手として、育成するとともに、次世代の担い手も育成する。 また、防災活動体制については地区防災計画に基づき、その編成は地域災害対策本部長により決定する。
	内容	・地域防災リーダーの育成(技術訓練の実施、装備品の支給、保険加入) ・「防災士養成研修プログラム」にかかる地域への募集案内 ・新人地域防災リーダー入団に向けた支援 ・地域防災リーダーへのアンケート調査
	予算額(予算科目)	591千円(通信運搬費、損害保険料)
	事業実施期間(回数)	技術訓練(各地域1回)
	事業対象者(人数)	地域防災リーダー310人(R5.4.1現在)
委託関係	契約・入札方法	地域災害対策本部長からの推薦に基づき区長が委嘱
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月～3月 小中学校土曜授業での指導		○	○
4月	5月 「防災士養成研修プログラム」にかかる地域への募集案内 6月 地域防災リーダー装備品の発注 6～7月 地域防災リーダー技術訓練		○	○
7月		区広報紙 HP (参加促進)	○	○
10月			—	—
11月			—	—
備考	【随時の取組】 地域防災リーダーの参加促進 地域防災リーダーの委嘱、ボランティア保険の加入申し込み 地域防災訓練の実施にかかる支援・視察			

項目		内容		
講座・イベント・会議名		地域防災リーダー技術訓練		
イベント等 開催関係	開催日時	6月～7月に5回(予定)		
	開催場所	大正消防署		
	区役所の主催等	共催		
	その他主催団体・組織等	大正消防署		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	300人		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	9:00～9:15 机上研修(防災リーダーに必要な知識を講義) 9:15～12:00 技術訓練(救護・搬送、可搬式ポンプの操作等)		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
動員の方法				
その他他課との連携等		大正消防署との連携による技術訓練の実施		
前年度実績		・改選時期における新任地域防災リーダーを対象とした技術訓練の実施:1回(R4) ・研修会が今後の防災活動に役立つと感じたリーダーの割合:100%(R4) ・地域防災リーダーの加入促進にかかる広報の実施1回(R4)		
業績目標	実績	全地域で机上研修・技術訓練1回以上実施	実施済 (6/11・6/18・6/25)	自己評価 ○
成果目標	実績	研修内容が今後の防災活動に効果的であると 感じたリーダーの割合90%以上を維持	100%	○
中期展望		地域災害対策本部長の指揮のもと、地域防災リーダーが地域で率先して防災活動を実践する体制をめざす。		
成果目標が 中期展望に 寄与する理由		地域防災リーダーが研修や訓練において、意義の理解や技術を習得し、地域での防災活動において主体的に取り組む必要があるため。		
SDGsゴール	9	産業と技術革新の基盤をつくろう		
	11	住み続けられるまちづくりを		
	13	気候変動に具体的な対策を		
修正履歴				

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
地19	水防団との連携	令和5年4月1日 地域協働課(防災防犯)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	南海トラフ巨大地震等の災害の発生が危惧される中、災害発生時には自助・共助・公助が重要な役割を果たすが、地域の自主防災組織や区役所等関係機関と水防団との連携により、地域防災力の向上を図る。
	内容	・大正区分団の庶務、通信連絡、その他管理事務 ・新入団員確保のための広報等による支援を行い、地域防災力の向上を図る。 ・水防事務組合が実施する水防訓練・防潮扉閉鎖訓練等への参加。
	予算額(予算科目)	—
	事業実施期間(回数)	通年
	事業対象者(人数)	水防団員(6分団:355人 R5.4.1)
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)			広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月 5月 3月			○	○
6月	4月 水防団辞令伝達式 4月～ 分団長会議(適宜) 5月 淀川筋・防潮筋合同水防訓練 6月 大正区水防訓練(鉄扉操作訓練)への参加 水防協議会へ出席		区広報紙 HP (参加促進)	○	○
9月	7月 防潮水防事務担当者会議への出席 8月 無線機操作担当者講習会への参加			○	○
10月				—	—
3月				—	—
備考	【適宜】 本部長との分団長会議の開催				

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
来賓紹介	—			
祝電紹介の方法	—			
動員の方法	—			
その他他課との連携等		大阪府(西大阪治水事務所)・危機管理室・区長会議部会・大阪港湾局・淀川左岸水防事務組合との連携		
前年度実績		・水防訓練(1回)(R4) ・災害の発生が予想される時に水防団による鉄扉閉鎖後、30分以内に区役所へ報告が行われた割合:実績なし(R4)		
業績目標	実績	水防訓練(1回)	実施済 (6/12)	自己評価 ○
成果目標	実績	災害の発生が予想される時に水防団による鉄扉閉鎖後、30分以内に区役所へ報告が行われた割合 100%	該当なし	○
中期展望		水防団に若手団員が拡充され、訓練等が十分に実施され、災害発生後速やかに担当する鉄扉が完全に閉鎖されること。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		水防団員に若手団員が拡充され、十分に訓練に参加することによって、災害の発生が予測される際に常に鉄扉を閉鎖することが可能となる。		

SDGsゴール	9	産業と技術革新の基盤をつくろう
	11	住み続けられるまちづくりを
	13	気候変動に具体的な対策を

修正履歴	
------	--

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
地20	地域防犯・安全対策の推進	令和5年4月1日 地域協働課(防災防犯)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	区民や地域、企業、警察、その他関係団体との連携により、地域の防犯意識の向上および地域における自主防犯活動を推進し、大正区将来ビジョン2025に掲げる地域で支えあう安全なまち「大正」の実現をめざす。
	内容	①大正区安全・安心なまちづくりに関する協定書に基づく、防災スピーカー(防災行政無線)、青色防犯パトロール車両を活用した防災・防犯情報の周知 ②地域・学校・関係機関と連携した「こども110番の家」運動の実施 ③教育委員会、学校、PTA、警察、道路管理者及び地域等と連携した「大阪市通学路安全プログラム」による、通学路や横断歩道の点検などの安全対策の実施 ④大正警察と連携した「自転車マナーアップ」及び「特殊詐欺被害防止」にかかる啓発の実施
	予算額(予算科目)	970千円(消耗品費、船車修繕料、備品修繕費、通信運搬費、手数料、損害保険料、公課費)
	事業実施期間(回数)	通年
	事業対象者(人数)	区民
委託関係	契約・入札方法	
	募集要項のポイント	
	仕様書のポイント	
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決算、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月5日 3月	【通年】防災スピーカー(防災行政無線)、青色防犯パトロール車両を活用した防災・防犯情報の周知 【1月～3月】こども110番の家、登録時点修正、マップ修正 【1月～3月】関係機関による通学路安全プログラムに基づく対応策の実施、実施結果の説明		○
	4月5日	②小学校への「こども110番の家」マップ配付及び講座等による啓発の実施、各地域まちづくり実行委員会への受託団体推薦依頼 ③通学路安全プログラムにかかる担当者打合せ会議の開催		○
	7月5日	②受託団体によるこども110番の家登録家庭の現況調査及び新規登録の勧奨 ②こども110番の家事業受託団体代表者会議の開催 ③通学路安全プログラムにかかる関係機関との合同点検、関係者会議の開催	区広報紙8月号 (こども110番の家)	○
	10月5日	②受託団体によるこども110番の家登録家庭の現況調査及び新規登録の勧奨 ③関係機関による通学路安全プログラムに基づく対応策の実施 ②こども110番の家事業受託団体代表者会議の開催	区広報紙 HP (自転車マナーアップ)	○
	3月5日	②こども110番の家、登録時点修正、マップ修正 ③関係機関による通学路安全プログラムに基づく対応策の実施、実施結果の説明		○
備考	【通年】 ①防災スピーカー(防災行政無線)、青色防犯パトロール車両を活用した防災・防犯情報の周知 ④街頭啓発等の実施			

項目		内容	
講座・イベント・会議名		こども110番の家受託団体代表者会議／通学路安全プログラム合同会議	
イベント等開催関係	開催日時	712月／6月小学校校長会開催前	
	開催場所	大正区民ホール大正区役所	
	区役所の主催等		
	その他主催団体・組織等		
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等		
	目標事業規模		
	その他留意事項		
	イベント等 当日タイムテーブル	【こども110番の家受託団体代表者会議】 ・こども110番の家登録家庭等の時点修正について 【通学路安全プログラム合同会議】 ・本年度対象地域の説明および関係機関の紹介について	
	挨拶者		
来賓紹介			
祝電紹介の方法			
動員の方法			
その他他課との連携等		区内小学校、PTA、大正警察署、大正消防署、津守工営所、臨港方面管理事務所、大阪港湾局	
前年度実績		・防災スピーカー（防災行政無線）、青色防犯パトロール車両を活用した防災・防犯情報の周知（随時） ・「こども110番の家」運動にかかる講座等による啓発の実施：全小学校（10校）（R4） ・こども110番の家の普及・青色防犯パトロールカーによる巡回、通学路の安全点検などによる取組が安全・安心なまちづくりに効果があると肯定的に感じている割合：こども110番の家77.9%、青色防犯パトロールカー73.3%、通学路の点検75.6%（R4） ・「大阪市通学路安全プログラム」による合同点検の実施：3校（R4）	
業績目標	実績	・警察、消防など関係機関と連携した防災・防犯にかかる臨機かつ機動的な情報周知 ・「こども110番の家」運動にかかる講座等による啓発の実施：全小学校（10校）	実施済 自己評価 ○
成果目標	実績	区民意識調査において、こども110番の家の普及・青色防犯パトロールカーによる巡回、通学路の安全点検などの取組が「安全・安心なまちづくりに効果がある」と肯定的に感じている割合が各項目で前年度以上	・こども110番の家 78.7% ・青色防犯パトロール車両による巡回 80.3% ・通学路の安全点検 80.2% ○
中期展望		警察、消防など関係機関と連携した取組および地域における自主防犯活動の推進により、「大正区将来ビジョン2025」に掲げる地域で支えあう安全なまち「大正」の実現が進められている状態	
成果目標が中期展望に寄与する理由		各事業が効果的に実施されることで、地域住民の防犯意識が向上し、自主防犯活動が推進されと考えられるため。	
SDGsゴール	11	住み続けられるまちづくりを	
修正履歴	【事業・業務概要欄】 内容に④の事業を追記 【スケジュール欄】 第2四半期の②の事業について、実施月を第3四半期に変更・④の事業を備考に追記 【イベント等開催関係欄】 開催日時7月を12月に変更、開催場所を大正区民ホールから大正区役所に修正		

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
地21	放置自転車対策	令和5年4月1日 地域協働課(防災防犯)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	啓発指導員(サイクルサポーター)の配置、建設局との連携による撤去回数や実施時間帯などの調整により、放置自転車台数の減少を図り、区内の環境整備に取り組む。
	内容	・啓発指導員(サイクルサポーター)の配置及び放置自転車台数の調査(大正駅周辺、【バス停】大正区役所前・中央中学校前・平尾) ・建設局との連携による放置自転車の撤去回数や実施時間帯などの調整
	予算額(予算科目)	2,394千円(委託料、消耗品費)別途:整備費194千円、撤去費:6,309千円(建設局CM予算)(R4予算)
	事業実施期間(回数)	通年
	事業対象者(人数)	自転車利用者
委託関係	契約・入札方法	事後審査制限付一般競争入札
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	【大正区における啓発指導員(サイクルサポーター)による放置自転車対策業務委託】 放置自転車による通行障害などを未然に防止するため、大正区役所が指定する場所に啓発指導員を配置し、放置自転車に対する啓発・整理作業を行い、市民に自転車等放置禁止、駐輪場の利用を呼びかけることで、放置自転車問題の解消を図る。
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業	
(前年度)	1月 2月 3月	2月 啓発指導員(サイクルサポーター)による放置自転車対策業務委託について一般競争入札の実施、事業者の決定 3月 自転車対策関係機関会議(仮称)開催		○	○
6月	4月 5月	啓発指導員の配置及び放置自転車台数の調査(大正駅周辺・【バス停】大正区役所前・中央中学校前・平尾) 建設局による大正駅前放置自転車撤去(通年)		○	○
9月	7月 8月	啓発指導員の配置及び放置自転車台数の調査(大正駅周辺・【バス停】大正区役所前・中央中学校前・平尾) 建設局による大正駅前放置自転車撤去(通年)		○	○
12月	10月 11月	啓発指導員の配置及び放置自転車台数の調査(大正駅周辺・【バス停】大正区役所前・中央中学校前・平尾) 建設局による大正駅前放置自転車撤去(通年)		○	○
3月	1月 2月	啓発指導員の配置及び放置自転車台数の調査(大正駅周辺・【バス停】大正区役所前・中央中学校前・平尾) 建設局による大正駅前放置自転車撤去(通年) 啓発指導員(サイクルサポーター)による放置自転車対策業務委託について一般競争入札の実施、事業者の決定		○	○
備考					

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル			
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		・大正区駅周辺・バス停(3箇所)に啓発指導員配置(毎週月～日) ・放置自転車対策が放置自転車台数の減少につながっていると回答した割合：76.2%(R4) ・建設局とのDo!プランの取組内容にかかる打合せ：1回(R4)		
業績目標	実績	建設局とのDo!プランの取組内容にかかる打合せ：1回	実施済 (6/22)	自己評価 ○
成果目標	実績	放置自転車対策が、放置自転車による通行の妨げの解消に効果があると感じると回答した割合 前年度以上	82.0%	○
中期展望		放置自転車をなくし、道路(歩道)・駅前、広場等を安全で快適に保つことで、「大正区将来ビジョン2025」に掲げる地域で支えあう安全なまち「大正」の実現が進められている状態		
成果目標が中期展望に寄与する理由		本事業が効果的に実施されることで、区内の環境整備が図られ、区民の防犯意識が向上すると考えられるため。		

SDGsゴール	11	住み続けられるまちづくりを

修正履歴	
------	--